

第10章 西ノ原遺跡の調査

遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

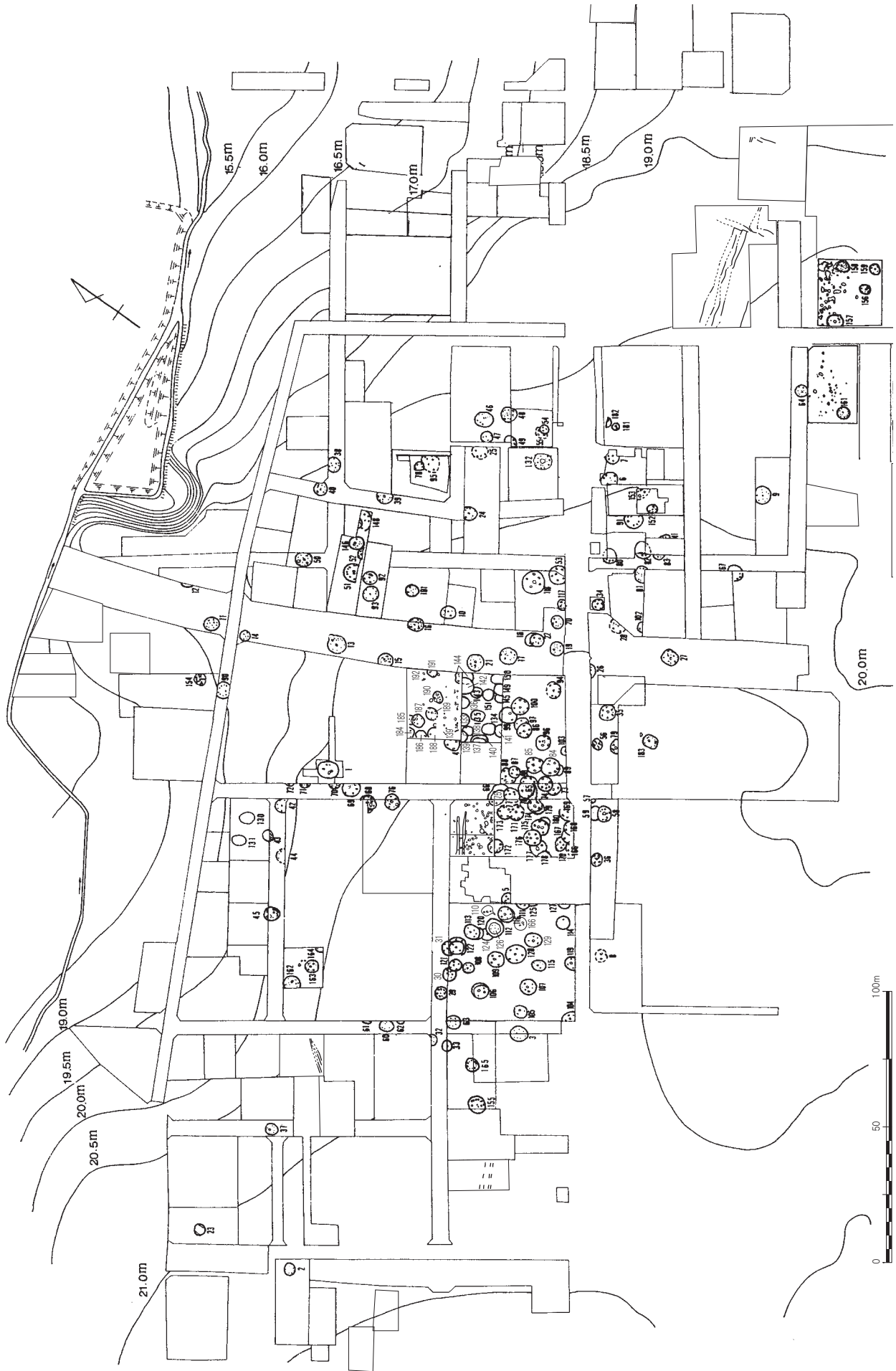
周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東

久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40%が調査されてきている。1971年以来2013年12月現在で158地点に及び調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、180軒を越す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。



第48図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)



第49図 西ノ原遺跡遺構分布図(1/2,000)

ピット 51 出土遺物

1 は、渦巻き文を中心にして沈線で渦巻き文に連続弧線を加えたいわゆるブラジャー土器で、右端に突起が付いている。2 は、加曽利 E 1 式のキャリパー形の土器で、無文部と口縁部文様帯の境の土器は破片。

ピット 61 出土遺物

1 は敲き石。半欠品。側面と上端に敲き痕がある。長さ 9.5 cm。石質は、硬質砂岩。

ピット 68 出土遺物

1 は勝坂式土器でコの字状の隆帯に細かい刻みと、沈線が加わったもの。

ピット 71 出土遺物

1 は、加曽利 E 式土器。地文に縦に全面 6 本単位の条線で、口縁部直下と胴部に横位に 2 本の沈線を加えたもの。連弧文土器の一種。

遺構外出土遺物

1 は、短冊形打製石斧。刃部の破片。石質は、ホルンフェルス。

2 は、敲き石完形。長さ 16.3 cm。370.6g。側面に敲き痕あり。石質は、角閃岩。

西ノ原遺跡第 149 地点

(1) 調査の概要

調査は事務所建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が 2010 年 12 月 7 日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東部に位置し、145 地点の南東部に隣接するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2011 年 2 月 7 日から 2 月 10 日まで、幅約 2 m のトレンチを 3 本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、近世以降の溝 1 本を検出した。遺構確認面までの深さは約 40 cm である。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

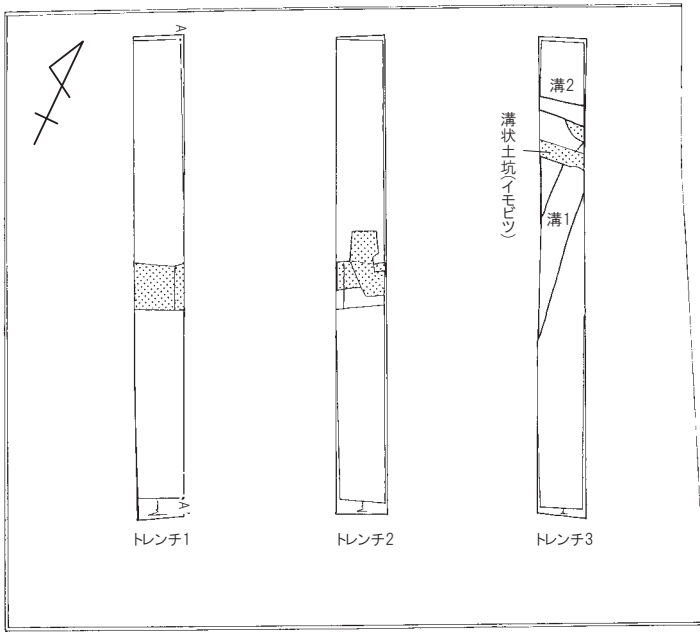
(2) 遺構と遺物

溝

東西方向の溝と南北方向の溝を検出している。いずれも 1957 年以前の土地境と位置が一致しており、近世以降の土地境の溝である。

溝 1 は南北方向の溝で、南側の 145 地点で検出した溝 2 と連なる。「西ノ原公図」(1872 年)で記載された村道と重なるが、この村道は公図に紙を貼って消されている。東西方向の溝状土坑(イモビツ)に壊される。溝の上幅は 120 cm、下幅は 25 ~ 40 cm、断面形状は緩やかに立ち上がる「U」字形で、深さは確認面から 30 cm である。

溝 2 は東西方向の溝で土地の境と重なる。溝の上幅は 55 cm、下幅は 10 cm、断面形状は「U」字形で、深さは確認面から 20 cm である。



表土

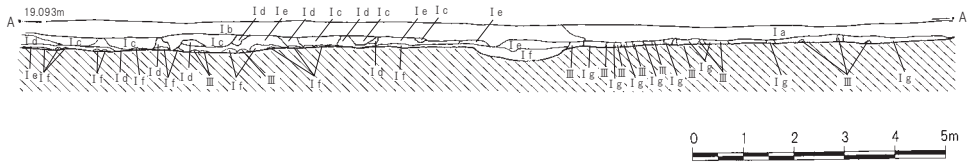
- I a.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く含む
- I b.黒褐色土 ローム粒(3mm以下)少し含む
- I b'.暗褐色土 ロームブロック・粒(1cm以下)や黒褐色土が不均一に混ざる
- I c.黒褐色土 大型のロームブロック(1~10cm)少し含む
- I d.黒褐色土 色調褐色味が有る、ローム粒(3mm以下)僅かに含む
- I e.黒色土 ロームブロック(2cm以下)・黄灰色シルトブロック(3cm以下)やや多く含む
- I f.褐灰色土 締り強、ローム粒(5mm以下)多く含む、トレンチャー痕覆土
- I f'.黒褐色土 ロームブロック・粒(2cm以下)やや多く含む、トレンチャー痕覆土
- I g.暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む、トレンチャー痕覆土
- I h.黒色土 I eに似るがトレンチャーより古い、大型のソフトロームブロック(8cm以下)多く含む

- II.盛土、暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
- III.ローム地山

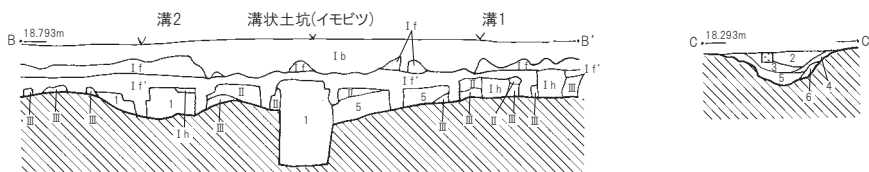
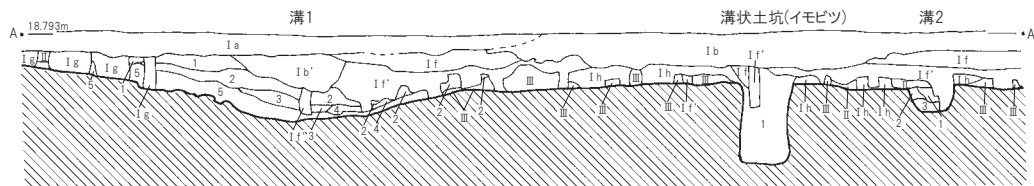
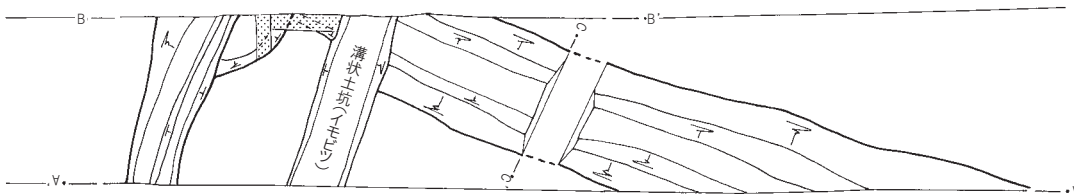
溝1

- 1.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(5~10mm)少し、ローム粒(3mm以下)多く含む
- 2.暗褐色土ベース 締り強、粘性有、ロームブロック(3cm以下)・黒色土をやや多く含む、斑状を呈する
- 3.暗褐色土 締り強、粘性やや弱、ローム粒(3mm以下)多く含む、黒灰色シルト少し含む、以下水成堆積
- 4.黄褐色土 締り強、粘性やや弱、ローム粒(3mm以下)主体、黒灰色シルト少し含む
- 5.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く、ロームブロック(1~4cm)と黒灰色シルトブロック(長4cm以下)やや多く含む
- 6.暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し含む

トレンチ1



溝1



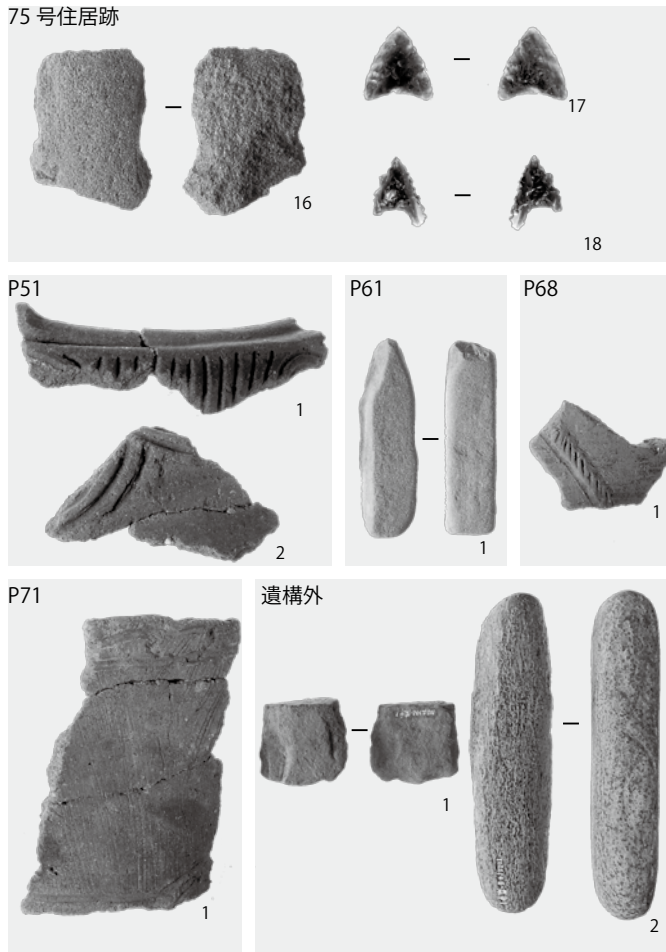
溝2

- 1.暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm大)少し、ローム粒(3mm以下)やや多く含む、II層に似るが黒色味が有る
- 2.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(15cm大)・ローム粒(2mm以下)少し含む、褐色味強い
- 3.黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック(2cm大)・ローム粒(5mm以下)・黒灰色シルトブロック(2cm大)少し含む

溝状土坑(イモビツ)

- 1.黒褐色土ベース 締り強、粘性やや弱、ロームブロック(6cm以下)主体

第 67 図 西ノ原遺跡第 149 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)、溝 (1/80)



西ノ原遺跡第 148 地点 75 号住居跡、土坑 4、P51、P61、P68、P71、遺構外出土遺物



西ノ原遺跡第 149 地点



神明後遺跡第 42 地点



神明後遺跡第 43 地点全景



神明後遺跡第 43 地点ピット